

だいたい 雨のしくみ

☆赤坂小☆小・2 ほんごう さな

わたしは、雨がふったときの思い出があるよ。雨がふると、家中であそぶことになるけど、家の中であそぶのも楽しいよ。雨がなにかにぶつかってはねかえるのが、カエルみたいでおもしろかったよ。雨の日、かさをさしたら、いい音がなるんだよ。ポトポトって音が耳の近くで聞こえて楽しくなるよ。水たまりに入って、足でピチャピチャ音をならすのも楽しいよ。だけど、とう下校中にたくさん雨がふると、かさをさしてもランドセルやふく、くつがぬれていやだなと思う時もあるよ。雨はいやなこともあるけど、楽しいこともあるよ。雨はなんでふるのかな、大雨の時と少ない時があるの何でかな。ただの水なのかな、きれいなのかな、きたないのかなとふしぎに思ったよ。お母さんさんに聞いてもわからなかったから、自分で雨のしくみについてしらべてみたよ。

つぎは、雨がどうやってできているのか、たしかめていくよ。雲の中の水のつぶや、こおりがとけておちてくるんだって。こおりにならずに、雲の中で、あつまりあって大きくなり、おもくなっておちてくる雨を、あたたかい雨とよんでいるんだよ。こおりのつぶになつた雨を、つめたい雨とよぶんだよ。どのぐらいきたないのかは、ふりはじめの雨だけちりやほこりといっしょにふってくるから、雨じたいによこれはほとんどないらしいよ。

大雨がふる時は、南からしめつた空気がながれこむことで、雨雲をはったつさせるんだって。はったつした雨雲が長い時間にわたつ

て雨をふらせると、大雨になるよ。しらべてみてちよつとむずかしかつたけど、しくみがわかったよ。

あと、雨の日はどうしてせんたくものがかわきにくいのかなと思つたよ。雨の日になると、お母さんが

『せんたくものがかわかなくてこまるなあ。』

と言っているからしらべてみたよ。しつどは空気中の水分のわりあいのことで、雨の日はしつどが高いから、せんたくものの水分がじようはつしにくいらしいよ。しつどがひくい方が、高い方よりも水がじようはつしやすいなんだって。雨の日はせんたくものがかわきにくくてお母さんはいへんみたいだけど、雨がずっとふらない日がつづくとき水ぶ足になってしまつて、もつと生活がたいへんになってしまつとお母さんが教えてくれたよ。水ぶ足になると、水道の水がたくさんつかえなくなるし、花やおこめ、やさいを作る人たちもたいへんな思いをするんだと知つたよ。水はいつもたくさんあつてなくなることはないと思つていたけど、水がたくさんつかえるのはたくさん雨がふつてくれるからということもわかつたよ。夏にプールに入れたりできるのも、雨がふつて水がたくさんあるおかげなんだね。

今までは、雨についてくわしく知らなかつたけど、本でしらべたり、お母さんに聞いたりして雨がふる大切さを知つたので、水を大切につかつていきたいよ。また、雨がふつた時は水たまりに入つてあそびたいな。